令和２年度　学校だより　12 月号

～ひとがすき　まちがすき　いわさきの子～
横浜市立岩崎小学校　　電 話 ３３１－５１２３
ＦＡＸ ３３１－５３４３

自分の力を精一杯出し切った姿　～スポーツフェスティバルを終えて～

校長　小林　雅弘

朝夕と日中の寒暖の差が大きく、体調管理が難しい今日この頃ですが、子どもたちは元気いっぱいに過ごしています。気が付けば今年のカレンダーも残り一枚となりました。

さて、少し前になりますが、11 月６日(金)の「岩崎小 90 周年スポーツフェスティバル」を無事終えることができました。一度延期となり、平日に開催させていただいたにもかかわらず、たくさんの保護者の皆様にお越しいただき、子どもたちに温かい応援をいただいたこと、心よりお礼申し上げます。

新型感染症予防の観点から、運動会をどうしていくかを年度当初から教職員で議論してきました。「一日開催にするか、午前開催にするか」「どの種目を優先的に残していくか」「練習時間は何時間くらい確保するか」「応援団や音楽隊、高学年の係活動はどうするか」「全校児童で見合うか、入れ替え制にするか」「保護者の参観はどうするか」、「そもそも開催できるのか」･･･。何度も話し合いを繰り返しながら、ようやく迎えた当日でした。

入れ替え制になってもお互いの演技が見合えるよう、タブレットで録画した映像を各教室で見たり、開閉会式をテレビ放送とし、聖火リレーを事前に撮影して流したり、プログラム紹介を事前に児童のアナウンスで録音し、演技前に流したり、また、「90 周年」を意識するために、出番の時間以外は教室で記念式に向けた飾りを作ったりと、知恵を出し合い、できうる工夫を凝らして、感染リスクと教育的価値のバランスを考えての内容であったことご理解いただければと思います。

そんな中、子どもたちは自分の持てる力を精一杯発揮し、本当によくがんばりました。特に団体演技はどれもすばらしいものでした。

１・２年生の「みんなでぼうけん！スマイルダンス！」は、とてもかわいらしく、４色のカラー手袋が一斉にキラキラとふられたときは、校庭がお花畑になったようでした。

３・４年生の「ピシッ！心をつなげ！！ダイナミックソーラン 2020」は腰を低く構え、上半身をできるだけ大きく動かすことで、力強さを表現しました。まさにダイナミックな動きだったと思います。

そして５・６年生の「水･炎･雷･風･花･岩崎エイサーの呼吸 2020」。５つのグループが呼吸を合わせながら一体となり、勇ましさやしなやかさのあるすばらしい演技を披露しました。私自身、岩崎小のエイサーを初めて見ましたが、子どもたち一人ひとりの真剣な表情や動き、「イーヤーサーサー！」の掛け声などに感動し心が震えました。

６年生にとっては、小学校生活最後の運動会(スポーツフェスティバル)となりましたが、前日の会場準備、当日の一生懸命な姿に「さすが６年生！」と改めて成長を感じました。12 月５日(土)には「創立 90 周年記念式」、また 12 月 24 日(木)には「全校遠足」が行われます。そこでもきっと６年生が最上級生として活躍してくれることでしょう。